



3ウェイフルレンジ バイアンプ(パッシブMF/HFフィルター)

このデータはKF730×1本のもので、アレイでの特性はKF730 Wizardで定義してください。

注釈を最終ページのNOTEでご紹介しています。ご参照ください。

CONFIGURATION

サブシステム

	ユニット	音響的負荷
LF	10インチコーン×2	フェーズ・アライン
MF	7インチコーン×2	ホーンロード
HF	コンプレッションドライバー×2	ホーンロード
	1.75インチボイスコイル	
	1インチ口径 ネオジウム	

動作モード

	アンプチャンネル	外付けシグナルプロセッサ
バイアンプ	LF, MF/HF	DSP 2ウェイフィルター

PERFORMANCE¹

動作帯域	80 Hz ~ 20 kHz
------	----------------

公称放射幅

水平	110°
垂直	12°

軸上能率(全方向, SPL)

MF/HF	105 dB	230 Hz ~ 20 kHz
LF	91 dB	80 Hz ~ 230 Hz

ピーク能率(全方向, SPL)

MF/HF	112 dB	20 Hz ~ 20 kHz
LF	92 dB	20 Hz ~ 20 kHz

入力インピーダンス(Ω)

	公称	最小
MF/HF	16	15.9 @ 680 Hz
LF	16	15.1 @ 250 Hz

推奨ハイパスフィルター

ハイパス	=>80 Hz, 24 dB/oct
------	--------------------

アクセラレートライフテスト²

MF/HF	75 V	350 W @ 16 ohm
LF	106 V	700 W @ 16 ohm

軸上限界出力算出値(全方向, SPL)

	平均	ピーク
MF/HF	130 dB	136 dB
LF	119 dB	125 dB

ORDERING DATA

内容	パーツ番号
KF730 スモールラインアレイシステム	0006108

オプション

KF730/SB730フライバー	0006265
フライバー用スベア連結ピン 2.5インチ	0006266
スベア連結ピン 1.5インチ	0006122
KF730キャスターパレット	0006385

FEATURES

- ミニラインアレイでは出力対寸法の比率が最も高いシステム。
- 大型MF/HFホーンとEAW独自のフェーズ・アライン・テクノロジーを搭載したLFにより、水平指向パターン110度を160Hzまで維持。
- KF730 Wizardでリギングするアレイを自動設計可能。
- 内蔵リギング金具は軽量で丈夫な6061-T6アルミニウム製。
- 16Ωなのでパワーアンプ2chで最大8本のKF730をドライブ可能。

DESCRIPTION

コンパクトラインアレイシステムKF730シリーズは、同じクラスの製品にとって特性の基準になるものです。3ウェイでKFシリーズが持つ高い柔軟性と使いやすさをそのままに、多様なスペースにコンサートレベルの出力を提供します。KF730は多目的スペース、イベント、劇場、コンサートなどのメインシステムに最適なコンパクトラインアレイです。またKF760シリーズなど大型ラインアレイを補足するサブシステムとしても理想的です。客席向けのサイドフィル、ステージリップフィル、二階席向けサブシステムなどにお使いください。

大型のMF/HFホーンがエンクロージャーの前面をほぼ占有しており、MF/HFの通過帯域で水平パターンをより厳密に制御しています。MFの弧を描くローディングスロットが効果的に機能しているため、MFの音響的な原点が物理的に対応できるスペースよりホーンの奥に配置されています。側面にマウントされたLFユニットは前面に向かって再生音を放射し、8の字パターンを描きます。ユニット同士の間隔は、クロスオーバー付近でLFの放射幅がMFとの適合するよう決められています。

KF730は輸送しやすい大きさです。リギングシステムは併用するサブウーファーSB730のものと完全互換です。

¹ 表記された仕様を再現するためには、EAWが提供する設定で外付けシグナルプロセッサを併用してください。

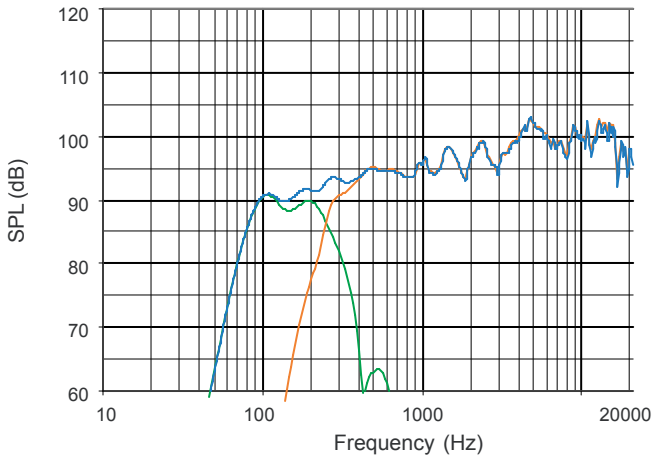
² 推奨するパワーアンプの出力については、音響特機ウェブサイトの「資料・履歴」にある「スピーカーに対するアンプのパワーはどのくらい必要なか?」をご参照ください。



PERFORMANCE DATA 注釈は最終ページ目の「NOTE」をご参照ください。

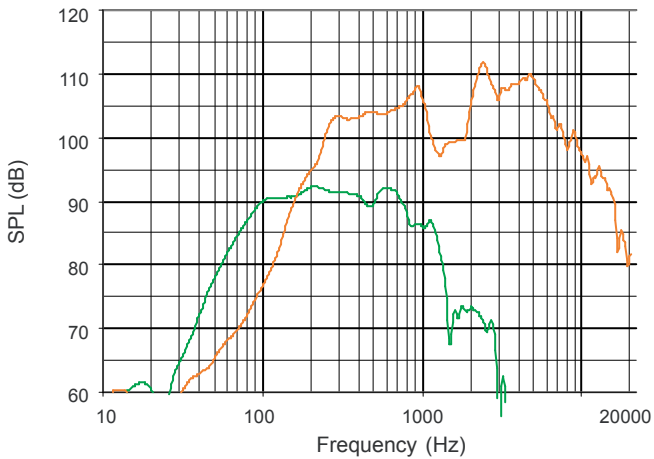
周波数特性: プロセッシング済みバイアンプの場合

LF = 緑 MF/HF = オレンジ システム全体 = 青



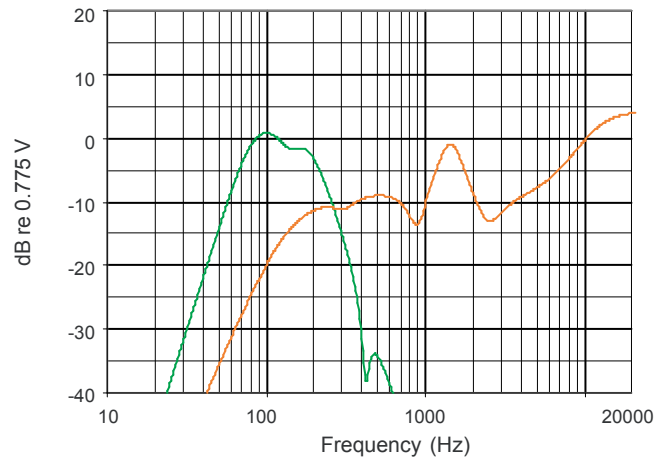
周波数特性: プロセッシングしていない場合

LF = 緑 MF/HF = オレンジ



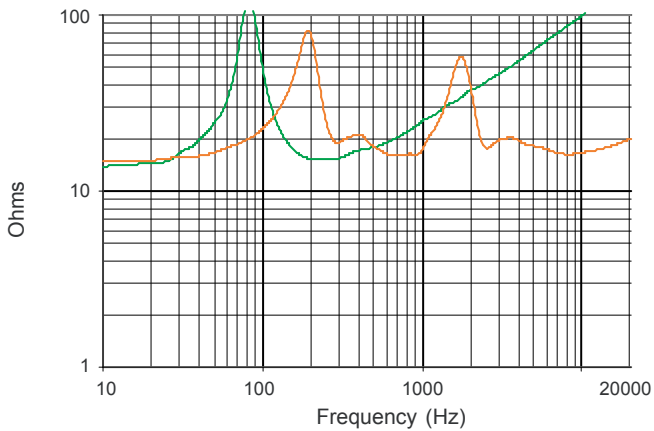
周波数特性: デジタルプロセッサ

LF = 緑 MF/HF = オレンジ



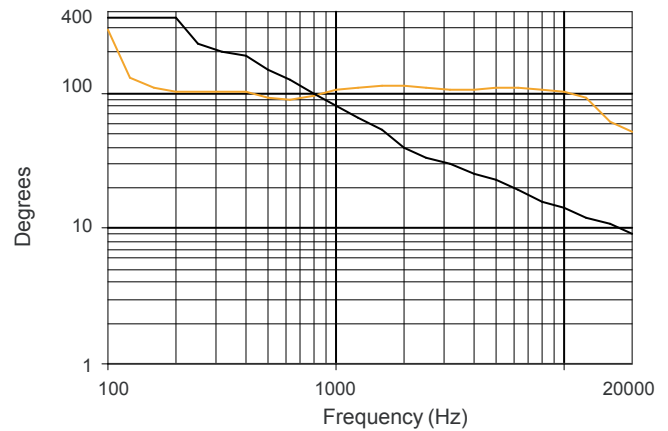
インピーダンス特性

LF = 緑 MF/HF = オレンジ



放射幅 (-6dB SPLポイント)

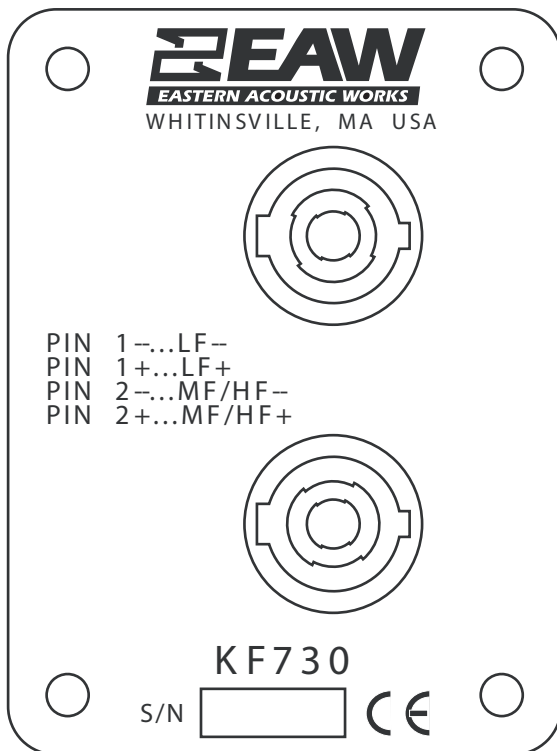
水平 = オレンジ 垂直 = 黒



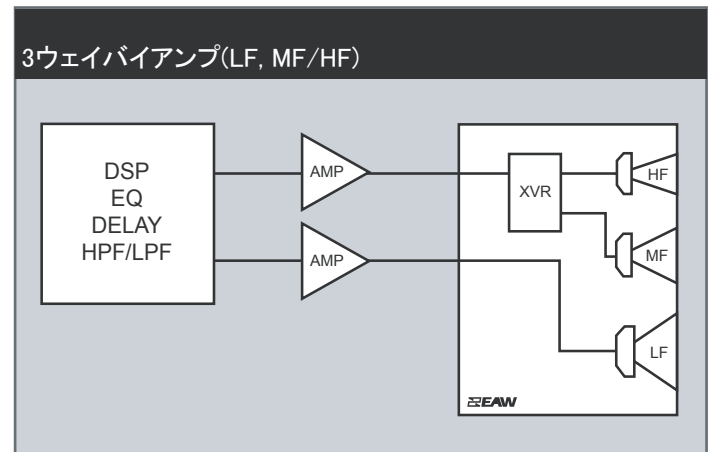
★製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

Part Number : RD0093(C)-J KF730 SPEC Dec. 2003

INPUT PANEL



SIGNAL DIAGRAM



LEGEND

- DSP: EQ、クロスオーバー、ディレイ等用にデジタルシグナルプロセッサをご用意ください。
- HPF: クロスオーバー用、あるいは推奨値に設定してください。
- LPF: クロスオーバー用ローパスフィルターです。
- LF/MF/HF: LFは低域、MFは中域、HFは高域を表します。
- PWR AMP: 適切なパワーアンプをご用意ください。
- XVR: パッシブのLPF、HPF、EQはスピーカーに内蔵されています。

NOTES

表組みデータについて

- 主要測定/データプロセッシングシステム…F-Chart (EAW専用ソフトウェア)
- 二次的測定システム…B&K 2012
- マイクロフォンシステム…Earthworks M30:B&K 4133
- 測定…デュアルチャンネルFFT FFT長:32768サンプル サンプリング周波数:48kHz 対数サインウェーブスイープ
- 測定システムの品質(不明分含む)…SPL:正確度±0.2dB@1kHz, 精度:±0.5dB(20Hz~20kHz), 解像度:0.05dB 周波数:正確度:±1%, 精度:±0.1Hz, 解像度:1.5Hzまたは1/48oct以上 時間:正確度:±10.4μs, 精度:±0.5μs, 解像度:10.4μs 角度:正確度±1度, 精度:±1度, 解像度1度
- 環境…時間窓による測定 測定スペースの影響をプロセッシング時に排除しほぼ無響室をシミュレート 無響あるいは小スペースのデータとしてプロセッシング
- 測定距離…7.6~8m 逆二乗則を適用して他距離のデータを算出
- V(ボルト)…テスト信号のrms値を測定
- W(ワット)…プロオーディオ業界における「スピーカーのW」は因習的に電圧の2乗を定格公称インピーダンスで除算するため、国際的な基準で定義されたエネルギーとしてのWという真の単位は存在しないものとした
- SPL(音圧レベル)…信号の平均レベル相当 0dB SPL=20μPa
- サブシステム…各通過帯域のユニット及びその音響的負荷 Sub Bass=サブウーファー LF=低域 MF=中域 HF=高域
- 動作モード…選択可能なコンフィギュレーション サブシステム同士がコマ(,)で区切られている場合=単一アンプチャンネル DSP=デジタルシグナルプロセッサ ※重要※表記された仕様を実現するためにはEAW提供の設定による外付けデジタルシグナルプロセッサの併用が必要
- 動作帯域…プロセッシングされた周波数特性で平均出力音圧レベルから-10dB以内の範囲の数値 幾何学的な軸上で測定 狭い帯域でのディップを除く
- 公称放射幅…0dB SPLを最高レベルとしたとき-6dB SPLのポイントで設定
- 軸上能率…公称インピーダンス1Wを出力する入力電圧を供給したときの動作帯域における平均出力音圧レベル 外部プロセッサなしで測定 距離1m
- ピーク能率…公称インピーダンス1Wを出力する入力電圧を供給したときの20Hz~20kHzバンドパスで測定された最大軸上音圧レベル 外部プロセッサなしで測定 距離1m
- 公称インピーダンス…4、8、16Ωの抵抗を選択 最小インピーダンスポイントは動作範囲内でこの値を20%以上下回らない
- アクセラレートライフトテスト…EIA-426Bで定義されたスペクトルを供給した際の最大テスト入力電圧 推奨シグナルプロセッシング/プロテクトフィルターを併用して測定
- 軸上限界出力算出値…アクセラレートライフトテスト中に実現可能な平均音圧レベルの最高値とピーク音圧レベル ピークSPLはライフトテスト信号が持つ2:1(6dB)のクロストファクターを反映
- 推奨ハイパスフィルター…動作範囲以下の極端な入力信号レベルからユニットを保護するために使用

グラフデータについて

- 解像度…重要性の低い細部を除去 音響的周波数特性は1/12octのケプstrラムで平滑化 放射幅とインピーダンスは1/3octのケプstrラムで平滑化
- 周波数特性…周波数ごとの音響出力の変動を表示 入力信号は一定で公称インピーダンス4Ωの場合2V, 公称インピーダンス8Ωの場合2.83V, 公称インピーダンス16Ωの場合4V 距離1m プロセッサ併用システムの場合プロセッサのゲインは0dB
- プロセッサの特性…0.775V=0dBの一定した入力信号に対する周波数ごとの出力レベルの変動を表示
- 放射幅…1/3octごとの平均角度 スピーカー背面からスタートして0dB SPLを最高レベルとしたときに出力が最初に-6dB SPLに到達するポイント 出力が-6dB SPL以下になる場合も含む 距離20m
- インピーダンス…インピーダンスの変動をΩで表示 対周波数で表示し電圧/電流の位相は参照しない インピーダンス値は真のW(上記参照)の算出には使用しないものと思われる



★製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

Part Number : RD0093(C)-J KF730 SPEC Dec. 2003